

錦中生の四季（応援歌）

作詞 藤原 一馬

作曲 井上 武士

（前奏）



きんこうじょうの あさぼらけ はゆるさくらの くれないにか すみたな



びくあわーじしま のどかにくれる はるのひよ



わかきいのちの じんせいよ ともに うたわん いざやとも し

錦中生の四季（応援歌）

作詞 藤原 一馬

作曲 井上 武士

1. 錦江城のあさぼらけ 映ゆる桜の紅に
かすみたなびく淡路島 のどかに暮れる春の日よ
若き命の人生を 共に歌はんいざや友
2. 若葉のかほる初夏の 野山のみどり群松の
ときわの操いや清く 文化の泉わきあふる
五月の空につどいきて わざに励まんいざや友
3. 白雲高くそびえ立ち 真夏の光つちにみつ
山に登りてきくしぐれ 水煙立てる海原
鍛え鍛えん心身を 五体にあふるたくましき
4. 秋錦城をめぐるては 紅葉の錦菊の香に
ふけゆく夜半の虫の声や ほのかにまもる窓の灯は
理想にもゆる若人の 影をしずかにうつすなり
5. 白球高く空にとび 大地にきそう駿足を
母校の名誉を双肩に になって立つる我友よ
力のかぎりたたかえる 血汐はもえて意気高し